

# 13. 山形県飯豊町

# 1. 地域概要

対象地域	山形県飯豊町白川湖の水没林等エリア			
申請主体	飯豊町			
計画名	白川湖の水没林 持続可能な観光推進事業			
観光客データ		平成31年	令和5年	令和6年
	入込観光客数(千人)	13	22	32
	-国内	—	—	—
	-訪日外国人旅行者	—	—	—
地域の特徴・観光資源等	<ul style="list-style-type: none"> <li>飯豊町は人口6,100人 山形県南部の農村地帯である</li> <li>白川湖の水没林は町内山間部に位置し飯豊山の雪解け水がダムに流入し、湖岸公園から見える木々を水没させることで、春の2ヶ月限定で水面に林が浮いている光景をみることができる飯豊町随一の観光地である</li> <li>飯豊町は日本百名山の飯豊山のふもとにあり、最上川源流の白川に貫かれている。雪解け水の恩恵により古くから稲作が盛んで水没林が知られる前は、平野部の田園散居集落景観やグリーンツーリズムが観光の軸である</li> </ul>			
協議体制	<b>協議の場</b>			
	<b>水没林ワーキング</b> 年間を通じ「水没林WG」をほぼ月1回定期開催。 令和7年度の課題に基づく令和8年度の対策計画を策定			
	<b>参加者</b>			
協議体制	<b>行政機関</b>	<b>有識者等</b>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>飯豊町商工観光課(ワーキングPMO)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>飯豊町観光協会</li> </ul>		
	<b>事業者</b>	<b>住民関係者</b>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>飯豊町地域振興公社、いいでカヌークラブ、山形県源流の森、飯豊中津川の森人会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中津川村づくり協議会(地域住民代表)</li> </ul>		

## エリアマップ

白川上流域(山間部)

白川湖より上流の山間部集落エリア なかつがわ農家民宿

白川湖の水没林

雪を生かした体験

**飯豊町広域図**

飯豊山の雪解け水と最上川源流白川の恵みに溢れる観光資源

日本百名山 飯豊山 豪雪

白川ダム湖

白川源流

最上川支流白川

田園散居集落 景観エリア

最上川

稲作を中心としたグリーンツーリズム体験

飯豊町を代表する景観 平野部の「田園散居集落」

白川中下流域(平野部)

## 2. 課題

	主な現状・問題点	影響を受けている主な対象
1. 道路混雑がもたらす 住民生活の支障	<ul style="list-style-type: none"> <li>山間部に位置する一本道のアクセス道路は、マイカー利用が中心で駐車場が不足しているため、ピーク時には最大3.5kmの渋滞が発生している</li> <li>この渋滞により、公園より奥の集落住民の移動や緊急車両の通行が著しく困難になる恐れがある</li> </ul>	地域住民
2. 繁忙期の受入及び 消費拡大の限界	<ul style="list-style-type: none"> <li>ゴールデンウィーク期間中は、売店・食堂・カヌー体験いずれも人手や設備の制約により消費額の増加が見込めない</li> <li>その一方で、連休以外の日中や平常時には受入余力があるため、国内客の集中を緩和し、通年での訪日外国人旅行者の誘客が求められている</li> </ul>	観光事業者 観光客
3. 利用者集中による 安全性と満足度の低下	<ul style="list-style-type: none"> <li>深夜・早朝から訪れるカメラマンやキャンパー、散策客による車の乗り入れが増加し、安全確保が課題となっている</li> <li>また、混雑による満足度の低下がリピーター獲得の妨げとなっている可能性がある</li> </ul>	観光客

## ① 山間部の渋滞列



山間部の一本道で3.5 kmにおよぶ渋滞

## ② フロントの混雑

売店、キャンプ・食堂受付等でのフロント混雑状況。  
人手とソフト・ハード整備での運用効率化が必要

## ③ 撮影のために集まるカメラマンの様子

GWは夜明け前からカメラマンが100名以上並び、  
テントと駐車スペースも混在するため安全面に課題

### 3. 背景・要因

#### 主な背景・要因

1. **SNSによる観光客急増**
  - SNSの普及により、湖岸公園が「映えスポット」として注目され、過去5年間で急激に観光客が増加した
  - 従来は平野部中心だった観光客層が山間部にも流入し、特に観光客が殺到するGW日中時間の受入体制の整備が追いついていない
2. **期間・時間帯の混雑集中**
  - ゴールデンウィーク期間の日中に観光客が集中することで、駐車場待ちの渋滞や園内混雑が発生している
  - 混雑のピークを避けるためには、来訪時期や時間帯の分散が求められる
3. **混雑箇所の一極集中**
  - 観光客は白川湖岸公園からの水没林観覧に集中しているが、対岸エリアにも同様の景観資源が存在する
  - 対岸エリアの受入余力を活用することで、混雑の緩和が可能となる



湖岸公園の先に集落あり  
観光客のによる混雑で、  
日常生活に支障。

# 4. 対策の概要

目指す姿	徹底した渋滞対策による集落住民の安全確保と、国内・海外観光客の時間帯・期間分散誘客に伴う町内経済活性化を両立したサステナブルな白川湖の水没林観光の推進
KGI	(指標) 住民の観光満足度
	目標値：令和7年からポイントアップ   実績値：0.66 (令和7年11月時点)

- 徹底した渋滞対策や地域活性化施策とその見える化により、集落住民・町民の観光客・観光産業への理解度・満足度向上と、観光消費拡大による町内経済活性化を図る

## ■ 補助事業の実施概要

需要の分散・平準化	
① 白川湖岸公園の需要分散事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>県道、公園内、ホテル内での水没林時期日中時間帯の渋滞や混雑集中が発生している</li> <li>DX化や積極的な混雑情報発信、ナイトタイムなど混雑時以外の魅力の発信・コンテンツ造成による需要の分散・平準化・観光振興を促進する</li> </ul>
② 閑散期間である冬季・残雪シーズンへの需要の分散	<ul style="list-style-type: none"> <li>県道、公園内、ホテル内での水没林時期日中時間帯の渋滞や混雑集中が発生している</li> <li>需要が少ない残雪シーズン誘客強化のためのコンテンツ造成に向けた物品導入と、ハード整備を行い、期間分散誘客を促進する</li> </ul>
③ 白川湖岸公園の需要分散に向けた調査事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>県道、公園内、ホテル内での水没林時期日中時間帯の渋滞や混雑集中が発生している</li> <li>調査データの取得・分析を用いることで、令和8年度以降の需要の分散や消費向上に資する施策検討、地域の合意形成を円滑化する</li> </ul>
④ 空間的分散に向けた対岸エリア調査事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>県道、公園内、ホテル内での水没林時期日中時間帯の渋滞や混雑集中が発生している</li> <li>白川湖岸公園対岸の町の遊休施設の土地・建物の健全性調査と対岸エリア活用の基本構想策定等調査事業により、観光エリアを拡大するための基盤を構築する</li> </ul>
⑤ インバウンド誘客等による需要分散化対策事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>県道、公園内、ホテル内での水没林時期日中時間帯の渋滞や混雑集中が発生している</li> <li>台湾に向けたインバウンドプロモーションと地元グリーンツーリズム関連素材を活かしたコンテンツ開発により、誘客の通年化と地域消費の拡大を促進する</li> </ul>

飯豊町広域



白川湖周辺



## 受入環境の整備・増強

- ⑥ 閑散期である冬期間の対応強化
- 県道、公園内、ホテル内での水没林時期日中時間帯の渋滞や混雑集中が発生している
  - 閑散期の冬期間の環境整備と、コンテンツ造成に必要な物品の購入し、期間分散誘客を推進する

## 地域全体の観光地域づくりに関わる事業

- ⑦ 地域住民理解促進事業
- 渋滞や混雑発生による住民の観光客や観光産業への不満感が発生している
  - 地域住民と協働し、観光客と地域住民双方に対する、観光の意義や白川湖の水没林のストーリーやマナーの理解促進に取り組むことで、地域住民の観光に対するイメージを向上させる
- ⑧ 地域の観光計画の効果検証事業
- 渋滞や混雑発生による住民の観光客や観光産業への不満感が発生している
  - 観光に関する周知、地域住民の認知度・満足度等の基礎調査、町内観光施設等での基礎調査を実施し、定量的・定性的なデータを基に混雑緩和対策をはじめとした観光振興に繋げることで、住民の観光満足度を向上させる



## 5-①. 主な取組（詳細）

## 需要の分散・平準化

補助事業①	白川湖岸公園の需要分散事業		
事業目的	GW日中から需要の分散による混雑緩和と消費拡大 (時間帯の分散化、土休日以外やGW以外の日付への分散化、水没林時期以外への分散化・観光振興)		
実施主体	(株)飯豊町地域振興公社	実施期間	令和7年7月～令和7年11月
<p><b>【背景・課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和6年度の白川湖の水没林の課題を整理し、11回のWGを開催し、本事業計画を策定</li> <li>地元住民代表組織中津川村づくり協議会との協議で事業を確定し、GW日中から需要の分散による混雑緩和と消費拡大を図る取組を実施することに決定</li> </ul> <p><b>【事業内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>公園内への料金徴収関連看板や誘導案内看板等の作成・整理し、県道と園内の流動円滑化による渋滞抑制</li> <li>WEB配信・リーフレットを活用した需要分散として、園内の見頃情報のライブカメラによるWEB配信、動画製作による他の季節の魅力の情報配信を実施</li> <li>飯豊町の春の観光資源となった「白川湖の水没林ライトアップ」について、ライトアップが良く見える東屋を活用し、カフェ・バーを魅力付けすることで、最も混雑する日中ではなく、夜への需要分散が起こる仕組みづくりを実現</li> <li>混雑緩和を目的に、誘導看板の設置を実施</li> <li>白川荘にて、新たに宿泊関連システム（ホテルシステムおよびサイトコントローラー）を導入したことで、キャンプと宿泊のシステムが統合され、GWの受付混雑時の対応が迅速になる見込み。また、公式サイトからの宿泊予約に加え、楽天トラベル、じゃらんネット等のオンライン予約についても一元的な管理を実現</li> </ul> <p><b>【推進ポイント】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>飯豊町の観光はGW日中の水没林だけではないことを訴求するため、白川湖の水没林ライトアップを夜間の定常プログラムとして、東屋カフェ・バーを活用し、ライブカメラやWEB配信動画等で情報発信で仕組化し、来訪の時間分散と消費拡大を同時に実現</li> </ul>			
			
水没林ライトアップ・水没林Bar			
		混雑のない早春の白川湖の動画	

## 5-①. 成果及び今後に向けて

## 補助事業①

## 白川湖岸公園の需要分散事業

## 令和7年度事業の目標 (KPI)

指標名 水没林期間のGW渋滞長の中期目標に対する進捗率

## 令和7年度に掲げた目標値

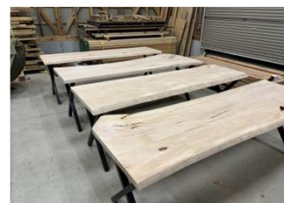
・ 20%

## 事業の成果/目標の検証結果

・ 20% (令和7年5月5日)

## 成果の詳細

- ・ ライトアップで閑散時間帯に誘客すべくウッドデッキ・テーブルを制作出来た
- ・ 来年度の混雑期での渋滞緩和や場内混雑緩和に繋げるべく、誘導案内看板を設置・整理できた
- ・ 宿泊施設でのネットワーク強化、予約システムの強化ができ、フロントの混雑緩和に繋がった
- ・ 早期の動画情報発信を進めることで、閑散期の魅力発信と分散に繋がった



水没林ライトアップ ウッドデッキ等



混雑緩和のための案内看板

## 令和7年度事業を踏まえた継続課題

## 人材育成を軸とした受入運用・演出品質・発信体制の強化

- ・ 宿泊施設のDX化については、社員教育を引き続き進めて最繁忙期に対応できるようにする必要性が発生した
- ・ ライトアップについてはイベント開催・サービス担当者のレベルアップが必要なためソフト整備も継続する必要性が分かった
- ・ 動画配信については素材はできたものの、効率的な発信媒体・方法を平行して検討していく必要がある

## 令和8年度以降の方針

## 整備の運用化と継続改善による次期繁忙期での活用と混雑分散の促進

- ・ 今回整備した内容については次期の繁忙期で活用していく
- ・ 各整備内容とも完全に整備が完了したわけではないため、さらなる混雑分散にむけて、必要な整備を精査して取り組みたい

補助事業①

白川湖岸公園の需要分散事業

設置した誘導看板に関する補足

◆ 公園内の主要導線に面した既存看板の裏面に施設案内がなく、広い園内で目的地が分かりにくかったため、場所確認の問い合わせが窓口集中し、滞留・混雑を助長していた。これを解消するため、両面表示かつ園内マップ・矢印・営業時間を含む案内看板を要所に増設し、動線の可視化と問い合わせ件数・混雑・滞留時間の削減を図った

① 白川湖岸公園の看板整備



② 白川湖岸公園内の案内サインを統一



## 5-②. 主な取組（詳細）

## 需要の分散・平準化

補助事業③	白川湖岸公園の需要分散に向けた調査事業		
事業目的	令和8年度以降の施策検討や地域の合意形成に向けた人流データ等の調査・分析		
実施主体	プラットヨネザワ株式会社	実施期間	令和7年5月～令和8年12月

## 【背景・課題】

- ・ 現在、白川湖にどのくらいの駐車がされたかの推計しかできておらず、来訪者の属性や時間帯などが正確に把握できていない
- ・ 白川湖以外の町内の他の施設への来訪状況についてもわかっておらず、住民・町民への説明力が足りていないため、適切な投資につなげられない
- ・ 白川湖をフックとして町内や隣接する山形県南部置賜地域への観光流動をさらに促すための施策を検討するためのデータがない

## 【事業内容】

## 1. 人流データの収集・分析

白川湖の総来訪者数1,160,762人（平均4,221人／日）のデータを収集・分析  
 白川湖の水没林：81,610人（町内2位）、春季集中型の季節性を確認  
 道の駅いで：807,633人（69.6%）、圧倒的ハブ機能を定量的に証明

## 2. 包括的分析の実施

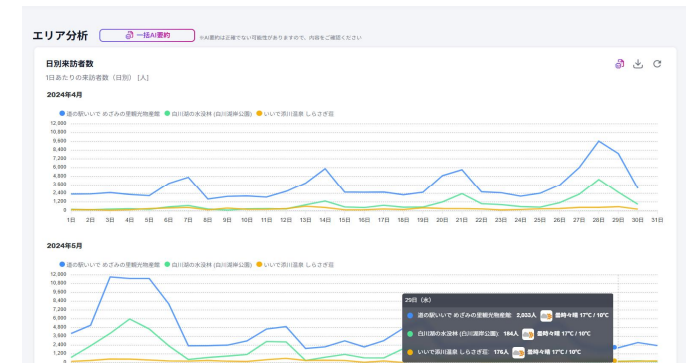
全20地点のトレンド、滞在時間、属性、居住地、SWOT分析を実施

## 3. 実用的な戦略提言

各地点の短・中期施策、ターゲット別戦略、モデルコースを協議体である水没林ワーキングに具体的に提案

## 4. 成果物の作成

「人流分析レポート2025」を作成し、WG・地域協議会にて活用



GWにおけるメインスポットの人流状況

## 【推進ポイント】

- ・ 本取組により、渋滞の根本原因であるGW日中帯の来訪集中を可視化する基礎データ（時間帯別来訪数・駐車・交通流・滞在行動）を取得し、セグメント別の適切なターゲティングに基づく需要分散施策の設計・検証を前進
- ・ ピーク需要の予測・管理を確立し、地域一体での消費拡大に向けたプロモーションの効果測定に必要なデータ基盤（売上、客単価、回遊、満足度、再訪意向）を整備

## 5-②. 成果及び今後に向けて

## 補助事業③

## 白川湖岸公園の需要分散に向けた調査事業

## 令和7年度事業の目標（KPI）

指標名	人流データの分析記箇所数
令和7年度に掲げた目標値	<ul style="list-style-type: none"> <li>20箇所</li> </ul>
事業の成果/目標の検証結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>20箇所</li> </ul>

## 令和7年度に掲げた目標値

- 20箇所

## 事業の成果/目標の検証結果

- 20箇所

## 成果の詳細

1. 施策立案の根拠データを提供（GW日中の混雑集中問題を定量的に可視化（具体的な来訪者数・時間帯別データ））
2. 戦略的施策の具体化に貢献（20地点の詳細分析により、回遊動線設計、分散化施策の優先順位を明確化）
3. 継続的評価の基盤を構（275日間のベースラインデータを確立し、今後の効果測定が可能に）

## 令和7年度事業を踏まえた継続課題

- 1 **継続データ不足**
  - データ継続性の確保: 単年度データでは経年変化が把握できない
- 2 **訪日外国人旅行者データ精度不足**
  - 訪日外国人旅行者データの精度向上: 現状では極小で分析精度が低い
- 3 **消費データ連携不足**
  - 消費額データとの連携不足: 来訪者数のみで経済効果が測定できていない

## 令和8年度以降の方針

- 1 **データ継続性の確保**
  - 同一手法による定点観測の継続と効果測定設計の標準化
  - 調査設計の固定化（質問票・サンプリング・回収導線・季節頻度）と年次横断比較の実施
- 2 **訪日外国人旅行者データの精度向上**
  - 多言語化・サンプリング強化・外部データ連携による精度改善
- 3 **消費額データとの連携改善**
  - 来訪データと支出データの統合による経済効果の可視化
  - 調査票に支出モジュールを追加（カテゴリ別・決済手段・同伴者数）し、一人当たり消費額をセグメント別に推計等を検討

## 5-③. 主な取組（詳細）

## 需要の分散・平準化

補助事業④	空間的分散に向けた対岸エリア調査事業		
事業目的	白川湖岸公園対岸の町の遊休施設の土地・建物の健全性調査と対岸エリア活用の基本構想策定等調査事業により、観光エリアを拡大するための基盤を構築		
実施主体	飯豊町	実施期間	令和7年7月～令和7年12月

## 【背景・課題】

- ・ 県道、公園内、ホテル内での水没林時期日中時間帯の渋滞や混雑集中が発生している
- ・ 一方で、白川湖岸公園対岸エリアは同じ水没林に面し魅力的なスポットであるにもかかわらず、町の遊休施設（休館したホテル）があるのみで閑散状況にある
- ・ 白川湖岸公園対岸の町の遊休施設の土地・建物の利活用により、観光エリアを拡大することで空間的な混雑分散と地域活性化を図りたい

## 【事業内容】

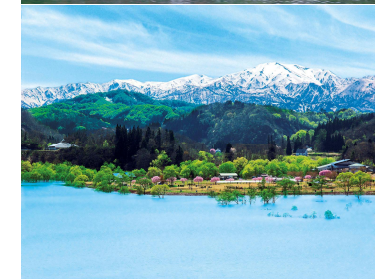
- ・ 閑散エリアにある町遊休施設の民間による利活用を推進するための基盤となる調査事業を実施
  - ・ 湖岸公園対岸の町の遊休施設の土地・建物の健全性調査を実施
  - ・ 白川湖岸公園対岸エリアの活用事業者の公募に向け、エリアの構想計画策定や設備改修に向けた調査事業を実施
- ⇒当該土地や施設のハード面（設備劣化状況、耐震性、今後の修繕可能性）とソフト面（マーケティングや活用スキーム等の検討）の調査で民間が利活用しやすい環境を整備していく

## 【推進ポイント】

- ・ 混雑緩和を前提に、通年で安定的な来訪が見込めるエリア形成を進め、地域住民・町内産業・来訪者の三方よしを実現するエリア／施設運営を目指すことで、地域全体の観光満足度向上に寄与
- ・ 調査事業では、ワークショップ等を通じて地域住民との対話・意見交換を重ね、課題の共有と解決策の具体化、合意形成を推進



フォレストいいで



フォレストいいでの景観

## 補助事業④

## 空間的分散に向けた対岸エリア調査事業

### 令和7年度事業の目標 (KPI)

指標名 対岸エリア活用の進捗率

#### 令和7年度に掲げた目標値

• 20%

#### 事業の成果/目標の検証結果

• 30% (令和8年1月31日)

### 成果の詳細

- 土地建物健全性調査により、再取得額や各種化学物質汚染状況などが判明。想定通りの内容であり、構想策定事業につなげることができた
- 構想策定調査事業を実施する事業者に、改修後の運営権を与える方式でプロポーザルを実施。構想策定と同時に今後の民間の活用事業者も決定した
- 調査では、土地建物の構造・設備の健全性、再取得額の妥当性、各種化学物質の検出状況を把握し、必要な対策項目と概算費用・工程の目安を整理した。結果は想定範囲内で、改修計画の成立性とリスクの見える化が進み、構想策定・事業者選定の前提条件を明確化できた。これにより予算編成とスケジュールの確度が向上し、プロポーザル手続の円滑化につながった (以下、エンジニアリングレポートの画像)



### 令和7年度事業を踏まえた継続課題

#### 改修実現に向けた設計・施工・予算化の具体化

- 実際の活用を目指し、改修に向けた設計・施工の実現、予算化が課題となり、実現に向けて今後具体化していく必要がある

### 令和8年度以降の方針

#### フォレストいいで活用・改修の着実推進による需要分散の加速

- 需要分散を加速させるため、本エリア (フォレストいいで) の活用に向けた取り組み、改修を着実にすすめる

# 5-④. 主な取組（詳細）

## 地域全体の観光地域づくりに関わる事業

補助事業⑦	地域住民理解促進事業		
事業目的	地域住民に対し「参画」してもらうことによる理解促進と観光満足度の調査		
実施主体	めどみの里グリーンツーリズム推進協議会	実施期間	令和7年7月～令和7年11月

### 【背景・課題】

- ・ 渋滞に苦しみ観光に対しマイナスの印象を持つと想定される山間集落住民を始めとした町民に対し、観光マナー啓発に「参画」してもらうことによる観光への理解促進と観光客への不満軽減を図る

### 【事業内容】

- ・ 地域住民と協働し、観光の意義、白川湖の水没林のストーリー、ならびに適切なマナーへの理解を、観光客と住民の双方で深める取組を推進
- ・ 具体的には、一般社団法人ツーリストシップと連携し、これらの内容を「旅先クイズ会」として分かりやすく提示し、楽しみながら学べる機会を提供、地元中学生等のボランティアが運営に参画して開催

### 【推進ポイント】

- ・ 町のLINEやHPにてボランティアを集めるとともにイベントを告知
- ・ 若いうち、子供の頃から観光産業に親しんでいただけるように中学校を巻き込んで事業を実施



クイズ会開催風景

楽しすぎる新たなボランティアのカタチ

### 旅先クイズ会

めどみの里物産館  
ボランティア募集中

活動内容について

- ボランティアでは何をしますか？  
 ① 旅行者へのツーリストショップのクイズを出題し、お題を聞きながら楽しく参加します。  
 ※ 事前に玉座し、質問しがいのある楽しい活動
- どんな人におすすめ？  
 人と交流するのが好きな人、ササアビリティについて楽しく働きたい人、活動が盛り上げたい人など、誰でもOKなイベントです！

募集内容

活動内容： 旅先クイズ会当日の運営スタッフ  
 日時： 10/25土 10/26日 10:30-13:00 の13:00-16:00のみです！  
 ※ 事前研修や当日参加も大歓迎です。  
 参加条件： ・ イベントの運営に慣れていくことが  
 ・ 当日、めどみの里物産館まで徒歩が可能な人  
 申込方法： 申込書を 各中学校の活動推進委員の連絡先へ10/25まで提出

申し込み先

※ 注： 白川湖の自然がめどみやメディアで人気となり、観光客の増加が予想されています。一か、オーバーツーリズムも懸念となり、観光客が集中する時間帯も実施しています。※ 天候により、当日中止となる場合があります。お天候次第で実施中止になる場合がございます。予めご了承ください。

（事務局） 飯盛町観光推進課 電話： 0238-72-0523（昼間） 一般社団法人ツーリストシップ  
 〒101-8501 東京都中央区新富1-10-1

学年	性別	名	6名以内
小学	男	10/25	10:30-13:00
小学	女	10/25	13:00-16:00
中学	男	10/26	10:30-13:00
中学	女	10/26	13:00-16:00

※ 当日の受付は物産館にて実施します。

ボランティア募集チラシ

## 5-④. 成果及び今後に向けて

## 補助事業⑦

## 地域住民理解促進事業

## 令和7年度事業の目標（KPI）

指標名	住民の観光に対する理解向上への進捗率
令和7年度に掲げた目標値	<ul style="list-style-type: none"> <li>20%</li> </ul>
事業の成果/目標の検証結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>30.7%（令和7年11月30日）</li> </ul>

## 令和7年度に掲げた目標値

- 20%

## 事業の成果/目標の検証結果

- 30.7%（令和7年11月30日）

## 成果の詳細

- 町LINEによる告知でボランティア参加者が出るなど観光への期待や興味を感じられた
- 当初目的通り中学生のボランティア参加者も得られたこと、事前段階で中学校で観光やこの取り組みの意義を朝会で全校生徒に周知できたため観光への知悉度が深まったと考えられる
- イベント開催時においては観光客・地元民ともにクイズに参加し、マナーや地元ストーリーに親しみ次回来訪時のマナーや需要分散につながると思われる



## 令和7年度事業を踏まえた継続課題

## 住民周知強化と継続参画型ボランティア基盤の構築

- 回数を重ね、事業のさらなる住民への周知が必要
- 永続的なボランティアを募集（どのように継続して関わってもらうか）

## 令和8年度以降の方針

## 時期・場所の再設計と春の白川湖開催検討による住民理解の促進

- 時期や場所を見直して、同様のイベントを開催する
- 実際にオーバーツーリズムに近い状態となっている春の白川湖での開催を検討し、住民理解を促進させる